備北地区・地域フォーミュラリ薬剤　数量集計での各病院コメント（5病院まとめ）

令和　8年　9月分（1）

ARB	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	テルミサルタン増加、アジルサルタン減少。オプション薬は減少傾向です。 フォーミュラリ外のイルベサルタン（持参薬継続処方）が増加傾向にあります。 推奨薬への切替えが可能か検討します。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ARB全体の使用量が減っている。ただしオプション薬の使用は伸びてきている。
府中北市民病院	使用量減

PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	エソメプラゾール・ラベプラゾールは増加、ランソプラゾール・ボノプラザンが減少し、 推奨薬の比率はやや上昇しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量の変動はないものの、ランソプラゾールの使用量は下がり、 その反面ラベプラゾールの使用量が伸びた形となっている。
府中北市民病院	使用量減

スタチン	各病院コメント
三次中央	ロスバスタチン2.5mgが微増していました。
三次地区医療センター	ロスバスタチンが倍増し、アトルバスタチンが減少。 プラバスタチンは前月の1/3まで減少し、推奨薬の比率も上昇しました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量の変動はなし。
府中北市民病院	使用量減

α-GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボース増加、ミグリトールは処方がありませんでした。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	先月よりも使用量は増加している。全体と比較しても使用量は多い月となった。
府中北市民病院	前月比較で使用量変化なし

抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	フェキソフェナジンが激減し、オロパタジンが増加、ビラスチンはやや増加です。 総数は前月の4割減でした。
庄原赤十字病院	気候状況の影響か先月より処方数が減ったものが多くあったが安定的に処方されている
西城市民病院	先月よりも若干増えてはいるが、レボセチリジンの使用量は減少傾向にある。
府中北市民病院	使用量減（8月使用量が多かった）

消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	アセトアミノフェン細粒は5月に急激な減少が見られ、それ以降も処方量は少ないです。
三次地区医療センター	アセトアミノフェンが5割増加、ロキソプロフェン減少、セレコキシブは横ばいです。
庄原赤十字病院	小児科での流行がなく小児で使用される薬剤の処方数が先月よりも減少していた （7/15ロキソプロフェン錠採用）
西城市民病院	使用量として全体的にばらつきがあり、先月よりも多めの使用量となった。 特にアセトアミノフェン500mgの使用が多く、がん患者に多く使用されたものと思われる。
府中北市民病院	使用量減

歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	処方量は減少しています。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	なし

備北地区・地域フォーミュラリ薬剤　数量集計での各病院コメント

令和　8　年 9月分(2)

ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	リセドロン酸が一時的に増加していました。
三次地区医療センター	アレンドロンは横ばい、ミノドロン1例のみ処方。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用量に変化なし
府中北市民病院	使用量減(8月使用量が多かった)

ヘルペス薬	各病院コメント
三次中央	処方量は減少しています。
三次地区医療センター	処方なし
庄原赤十字病院	対象患者が少なく先月同様に処方量は減少した
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	使用量減

Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	前月に比しニフェジピン20㎎・ベニジピンが大きく増加はしましたが、 総数は平均以下でした。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ニフェジピンCR錠20mgの使用量が先月よりも増加してはいるものの、 アムロジピンの使用が減ってきている。 冬に向かい降圧薬は使用量が増えてくると予想される。
府中北市民病院	大きな変化なし

グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	レパグリニドが倍増し、平均値を大きく上回った。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	なし

多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	処方1例のみ。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	先月と比較して使用量は減ってきているものの 全体の中では少な目の使用量で推移している。
府中北市民病院	なし

尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	アロプリノール、フェブキソスタットともに前月よりほぼ倍増、総数も平均を上回っていました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量が増え、ここ6か月間で最多の使用量となった。
府中北市民病院	使用量大きく減

消炎・鎮痛用(貼付剤)	各病院コメント
三次中央	100mgの処方量が断トツです。
三次地区医療センター	ロキソプロフェンテープが半減していました。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	消炎鎮痛薬の使用が減ってきているものの、 オプション薬を含め若干だが先月以上の使用量となっている。
府中北市民病院	使用量減